



# 操作

## 使用上のご注意

- 本機をご使用になる為には、ソニー製 DSPコントロール機能付きマスターユニットが必要です。
- 安全のため、運転中は車外の音が十分聞こえる程度の音量でご使用ください。
- マスターユニットのラウドネス機能はご使用になれません。
- マスターユニットのバス/トレブル、バランス/フェーダー機能はご使用になれません。

## はじめに

本機は、ソニーバスシステム対応のデジタルプリアンプです。  
クロスオーバーネットワーク、パラメトリックイコライザーが各10個のプリセットに登録できます。お客様の車内状況に合わせて最適な設定をしてお使いください。尚、各プリセットの調整はお買い上げの販売店にご相談ください。

## 登録されているメモリー（プリセットメモリー）を選ぶ

- イコライザーカーブ（PEQ）プリセットにイコライザーカーブが10個（MEMORY 1からMEMORY 10）登録されています。
- クロスオーバーネットワーク（CNW）プリセットにカットオフ周波数が10個（MEMORY 1からMEMORY 10）登録されています。

ちょっと一言  
メモリーの登録内容を変えたい場合は、お買い上げの販売店にご相談下さい。

- 1 ソース（CD、MD、テープ、ラジオなど）を再生する。
- 2 **(SOUND)** ボタンを押して「PEQ」または「CNW」表示にする。

PEQ

1 MEMORY1
- 3 ダイヤルで、登録されているメモリー（プリセットメモリー）（MEMORY 1からMEMORY 10）を選ぶ。  
3秒後、通常のモードに戻ります。

- ボイスガイド付きマスターユニットのボイスガイド機能はご使用になれません。
- 本機のATT（MUTE）動作はマスターユニット単体での動作と異なり、ATT（MUTE）ONの状態ではボリューム調整機能は動作しませんが故障ではありません。また、ボリューム操作によってATT（MUTE）の解除はされません。

## まずリセットする

初めて使うときや、自動車のバッテリーを交換したときは、マスターユニットのリセットボタンをつまようじの先などで押してください。

## ソースごとに音響効果を記憶する

— ソースサウンドメモリー  
本機は自動的に各ソース（CD、MD、テープ、FM、AM、テレビ）ごとに設定したイコライザーカーブを記憶しています（ソースサウンドメモリー）。それぞれのソースに合わせた最適な音場で再生することができます。

ちょっと一言  
TVチューナーとTVモニターを接続した場合、TVモニターには「LSM」(ラストサウンドメモリー)と表示されることがあります。

## CD/MDごとに音響効果を登録する

— ディスクサウンドメモリー  
ディスクごとにイコライザーカーブを設定して登録することができます。ディスクごとにいつでも同じ設定で聞くことができます。

この機能が使えるのは、プログラム演奏対応のCD/MDチェンジャーで再生しているディスクのみです。

- 1 設定したいディスク（CDまたはMD）を再生する。
- 2 イコライザーカーブを選ぶ。
- 3 **(SHIFT)** ボタンを押す。
- 4 数字ボタン **⑨**（PLAY MODE）を押して、「DSM set」表示にする。

CD1 SCHUBERT

DSM set

- 5 数字ボタン **⑥**（ENTER）を押す。  
手順4のあと、5秒以内に行ってください。

登録したディスクサウンドメモリーを消すには

上記の設定手順5で、数字ボタン **⑥**（ENTER）を2秒押します。

DSM

+Delete+

# 取り付け

## ご注意

### 設置上のご注意

- 本機のクロスオーバーネットワーク、パラメトリックイコライザーを調整するためには専用の調整機器が必要です。取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。
- 本機は12ボルトマイナスアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24ボルト車では使えません。
- 次のような場所への取り付けはお避けください。
  - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
  - 雨が吹き込んだり、水がかかったりする場所や湿気の多いところ
  - ほこりの多いところ
- 運転の妨げにならない場所で、同乗者に危険が およばないところを選んで取り付けてください。
- シートの下またはトランクルームに取り付けてください。

### 電源について

本機の電源コードはパワーアンプ等とは別にバッテリーから直接配線してください。

### ヒューズについて

- バッテリーのなるべく近くに必ず5Aのヒューズを入れてください。ヒューズを使用せずに誤った接続をすると、機器が誤動作したり、ケーブルが焼損する可能性があります。
- ヒューズが切れた場合は、電源コードとアースコードの接続を再確認してからヒューズを交換してください。交換したあともすぐ切れる場合は、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ヒューズを交換するときは、必ずヒューズに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズをお使いください。規定容量以上のヒューズや針金で代用すると故障の原因となるだけでなく大変危険です。

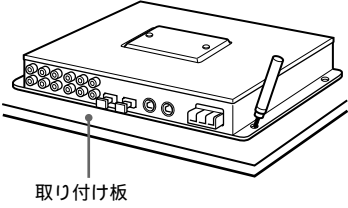
## 取り付け

### ビスで固定する

十分な厚み（14mm以上）の取り付け板をご用意ください。

1

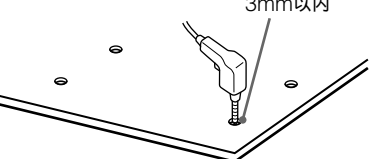
本機を取り付け板に置き、ネジを取り付ける位置に印をつける。



取り付け板

2

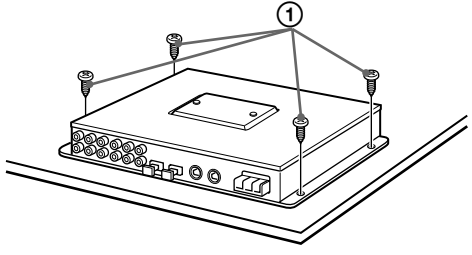
印の位置にドリルで3mm以内の穴をあける。



3mm以内

3

ネジ①で止め、固定する。



## 故障かな？

下記の処置を行っても効果がないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

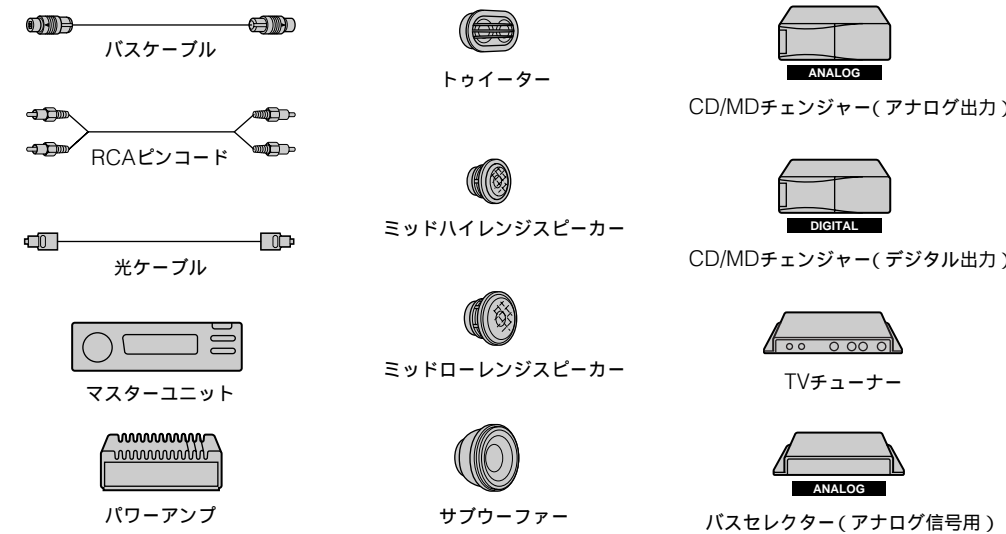
症状	原因・処置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 音量設定が「0」または最小になっている。 → 音量を上げてください。</li><li>● マスターユニットの電源を入れるとPOWERインジケーターが点灯する。 → アンプとスピーカーとの接続を確認してください。</li><li>● RCAピンコード、光ケーブルの接続が不十分である。 → しっかり接続してください。</li></ul>
POWERインジケーターが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● ヒューズが切れている。→ ヒューズを交換してください。</li><li>● アースが不十分である。 → 車体の金属部にしっかり接続してください。</li><li>● 接続しているマスターユニットの電源が入っていない。 → 電源を入れてください。</li><li>● バスケーブルの接続が不十分である。 → しっかり接続してください。</li></ul>
オルタネーターの雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源コード、RCAピンコードが近い。 → 電源コードとRCAピンコードを離してください。</li><li>● RCAピンコードが車両ハーネスに近い。→ 離して配線してください。</li><li>● アースが不十分である。 → 車体の金属部にしっかり接続してください。</li></ul>
ボリュームが操作できない。	ATT（MUTE）がONになっている。 → ATT（MUTE）をOFF にしてください。

# 接続

## ご注意

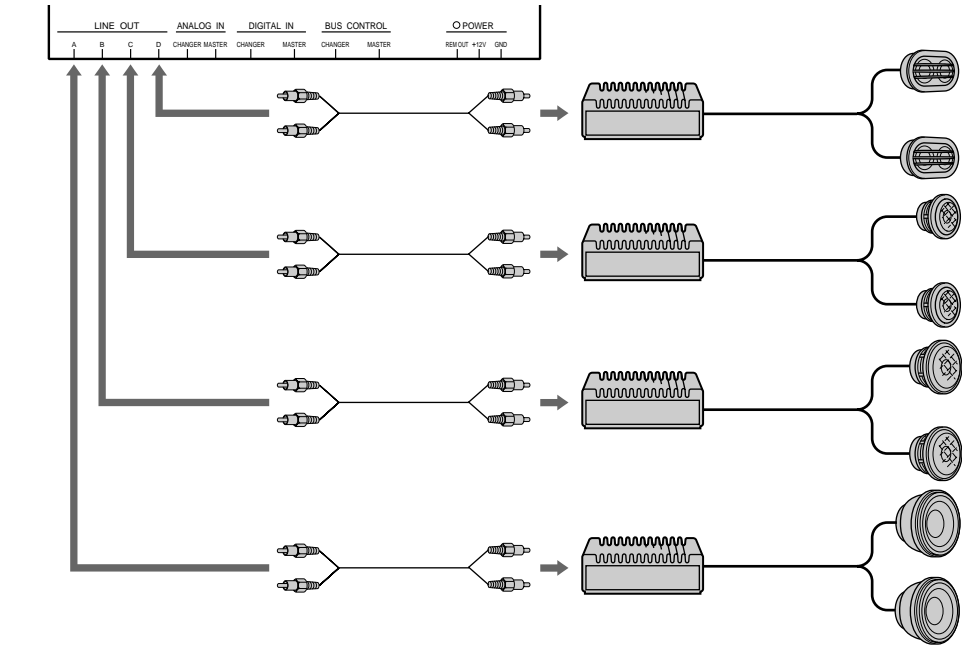
- 本機のクロスオーバーネットワーク、パラメトリックイコライザーを調整するためには専用の調整機器が必要です。接続及び調整はお買い上げの販売店にご相談ください。
- 作業中のショート事故防止のため、接続をするときはバッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 本機の電源コードはパワーアンプ等とは別にバッテリーから直接配線してください。
- 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機とXDP-U50DやXDP-U50DMK2、XDP-210EQを接続すると機能が正しく動きません。
- 本機を同時に2台接続することはできません。
- マスターユニットに音声出力/入力切り換えスイッチのついている機種ではスイッチを必ず②の位置にしてください。①の位置でお使いになると、ボリュームが最大値付近で固定されたままで調節できません。また、LINE OUT/EQ IN切り換えスイッチがある機種は、必ずスイッチをEQ IN側にしてください。

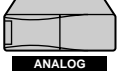
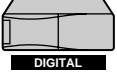
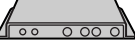
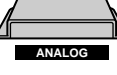
## 接続例のイラスト表示について(別売り品)



## パワーアンプの接続

外部アンプを接続する

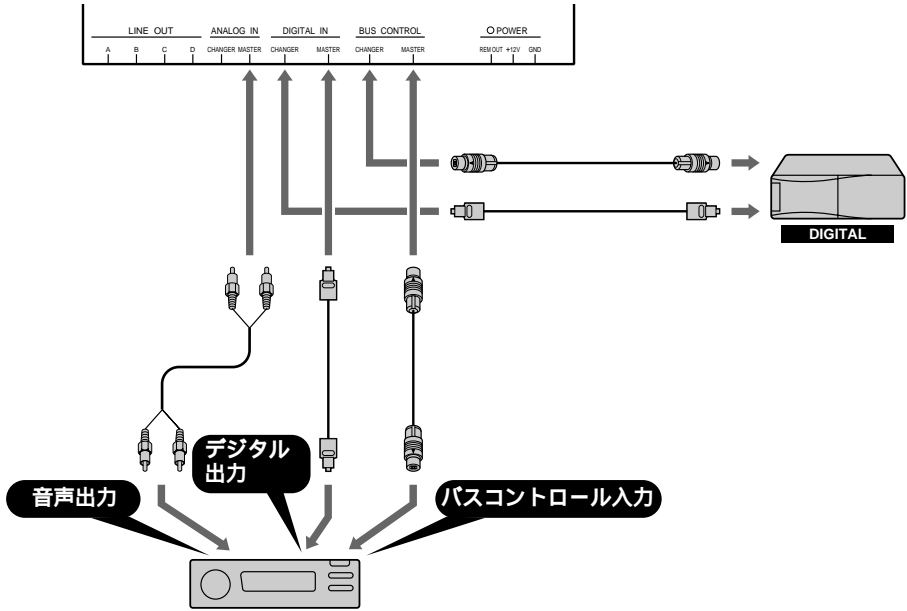


接続例番号	1	2	3	4	5	6	7
拡張機器							
 ANALOG							
 DIGITAL							
							
 ANALOG							

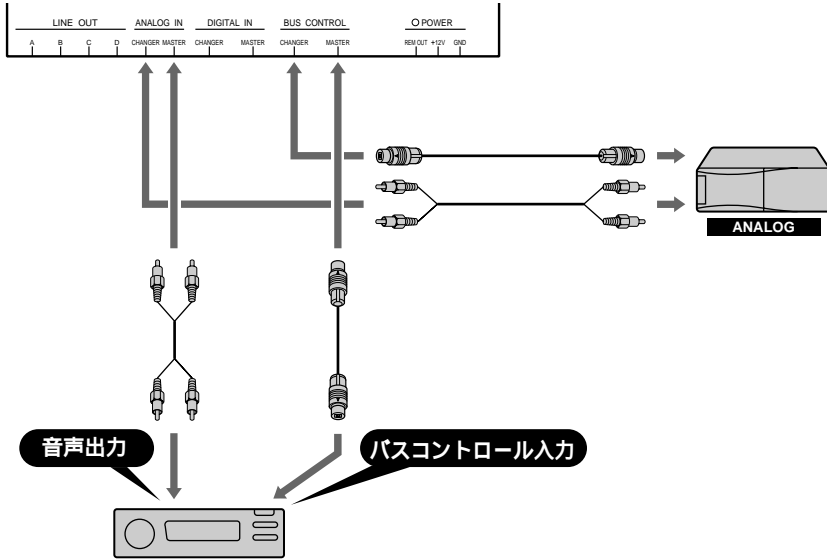
### ご注意

マスターユニットからの音声出力は、本機のANALOG IN表示のMASTER端子に接続してください。またアナログ出力のCD/MDチェンジャー、TVチューナー、パスセクターからの音声出力端子は、本機のANALOG IN表示のCHANGER端子に接続してください。間違った接続をすると、音声が出力されないかオルタネーターノイズが発生することがあります。

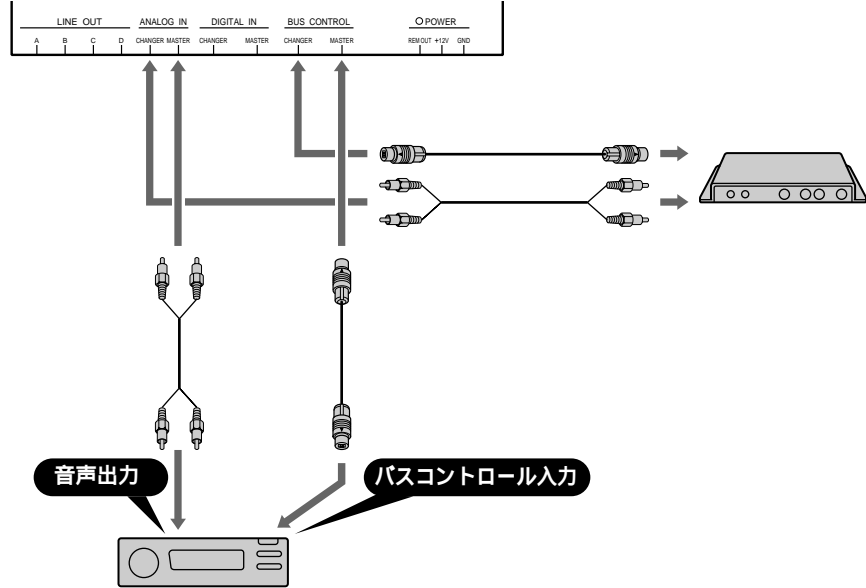
### 1 デジタル出力のCD/MDチェンジャーと接続する



### 2 アナログ出力のCD/MDチェンジャーと接続する

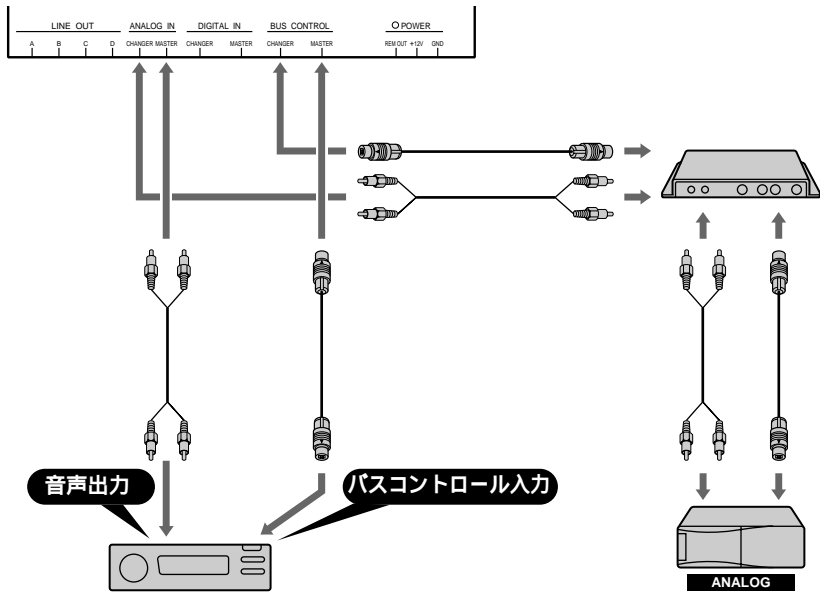


### 3 TVチューナーと接続する

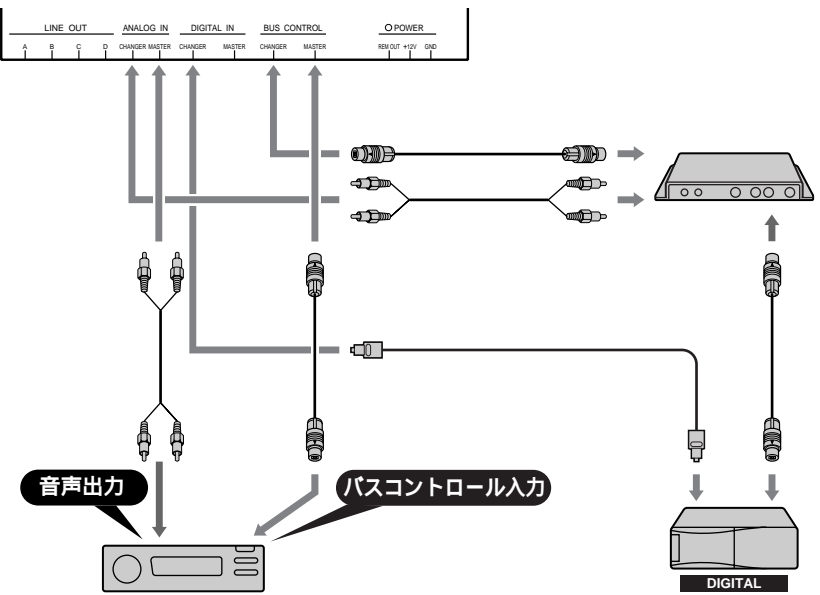




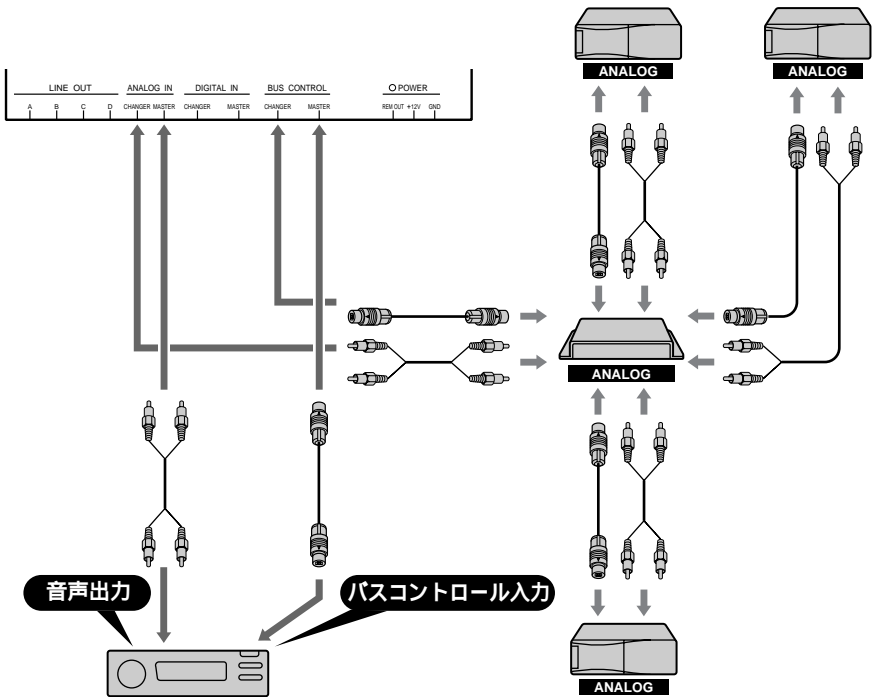
#### 4 TVチューナーとアナログ出力のCD/MDチェンジャーを接続する



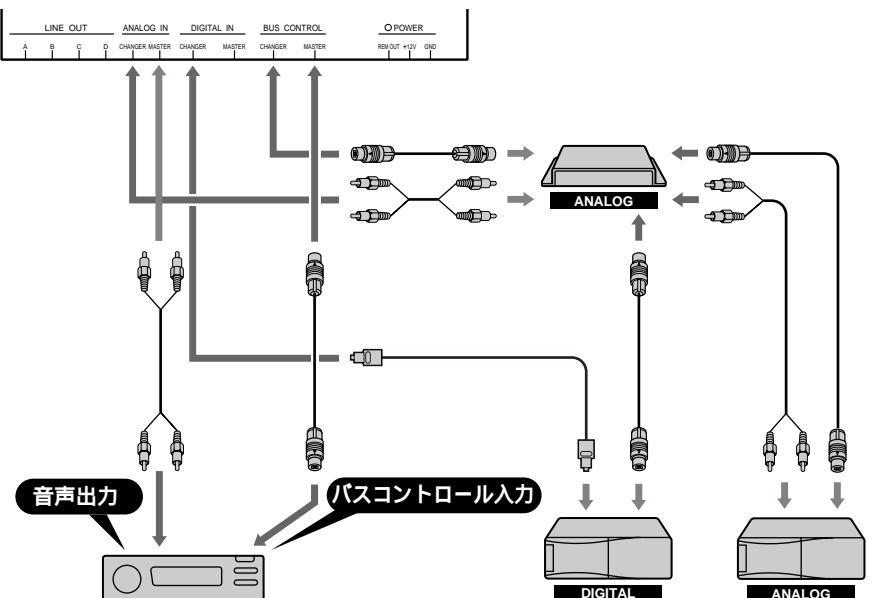
#### 5 TVチューナーとデジタル出力のCD/MDチェンジャーを接続する



#### 6 アナログ出力のCD/MDチェンジャーを2台以上接続する



#### 7 デジタル出力のCD/MDチェンジャーとアナログ出力のCD/MDチェンジャーを接続する



## 光ケーブル(別売りのRC-97/-98など)を接続する

### 光ケーブルの取り扱いについて

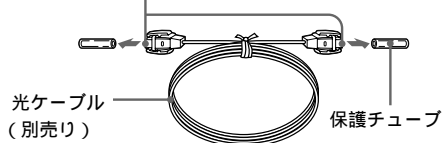
光ケーブルを使って接続をする場合は、以下の点にご注意ください。

- 半径5cm以下になるまで曲げないでください。音が途切れることがあります。
- 配線するときはケーブルが周囲の物に押しつぶされたり、締め付けられないようにしてください。
- カプラー部分を傷つけたり、汚したりしないでください。

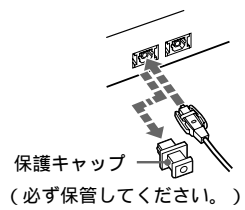
### 光ケーブルの接続

#### 1 光ケーブルの保護チューブをはずす。

カプラー部分には触れないでください。



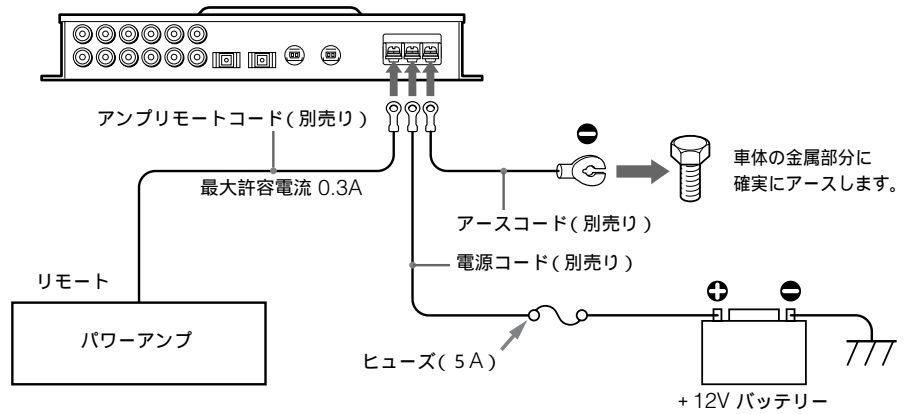
#### 2 保護キャップをはずし、光ケーブルを接続する。



### ご注意

- 光ケーブルによっては本機に適合しないこともあります。光ケーブルは必ずソニーカーオーディオ用のRC-97/-98などをご使用ください。
- 光ケーブルを接続するときは、コネクタ両側のロックを確実に差し込んでください。取りはずすときは、コネクタの両端をはさむようにして軽く持つだけではずれます。
- 光ケーブルを接続しないときには、本機に保護キャップを必ず取り付けおいてください。

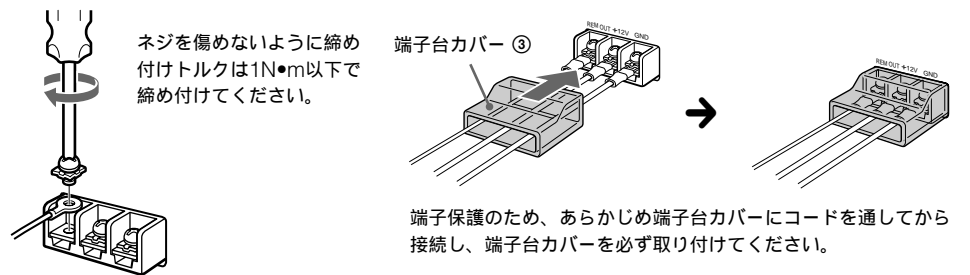
## 電源コードの接続



### ご注意

- 電源コードは必ず最後に接続してください。
- 本機の電源コードはパワーアンプとは別にバッテリーから直接配線してください。
- 電源コードは太さ16ゲージ (AWG-16、断面積1.25mm<sup>2</sup>) 以上のコードを使用し、可能な限りバッテリーに近い位置に必ずヒューズ (5A) を配置してください。

### コードの接続は下図のようにします



## 取り付けと接続が終わったら

- 取り付けと接続が終わったら、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどすべての電装品が正しく動作することを必ず確認してください。
- マスターユニットのリセットボタンをつまようじの先などで押してください。くわしくはマスターユニットの説明書をご覧ください。
- マスターユニットの電源を入れると本機のPOWERインジケーターが点灯します。

